



2015年度 大谷婦人会委員会

大谷婦人会 すみれ

2015年度真宗大谷派大谷婦人会の委員会が開催されました。新選良の委員も含め新たな顔ぶれで緊張感漂う中、事業計画案・予算案を全会一致で可決頂き、この三年間のスタートを切ったところです。

慣例によって役員の選出があり、不詳宮本が委員長を再度お受けする事となりました。浅学菲才の身ではありますが、委員の皆様のご協力を賜りつつ、心して勤めて参りたく存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、今や親鸞さまのみ教えが、現代社会の多様な価値観の中に埋没し、お念仏を申すという事の意義が見失われ、また「南無阿弥陀仏」という響きすら聞法の間から聞こえなくなった時代です。

このことは、時代や人心の変化に責任転

嫁されるべきものではありません。改めて《聞法一路》の精神に立ち返り、生活のただ中に「仏法聴聞」と「ただ念仏申す」というお内仏を中心とした日々の営みの回復が願われる事です。

過ぎし三年の歩みを糧として、「とどけよう ナンマングブ」を基本理念として、会員全員での取組みを展開して参りたいと思います。

大谷婦人会の会員の皆様、この大切な使命を一緒に担わせていただき、目標を持って一つひとつの聞法事業を丁寧に積み重ねて参りましょう。

そして、何よりも手渡された大事なお念仏を大切な人に手渡していきましょう。

大谷婦人会委員長 宮本 春美

とどけよう
ナンマングブ



第2期常任委員 紹介



常任委員
西日本ブロック
近藤 由美子



常任委員
北陸南部ブロック
月輪 満子



常任委員
東日本ブロック
高橋 トシ



委員長
東日本ブロック
宮本 春美



副委員長
東海ブロック
伊勢 順子



常任委員
北陸北部ブロック
壘昇 恭子



常任委員
東海ブロック
猪俣 恵子



大谷婦人会2015年度委員会報告

2015年7月24日 開催

2015年度委員会を真宗教化センター「大谷ホール」において開催し、全国から20名の新しい委員が集いました。2014年度事業報告と決算、2015年度事業計画案と予算案等が提案され、すべて全会一致で可決されました(予算の内訳は下グラフのとおり)。

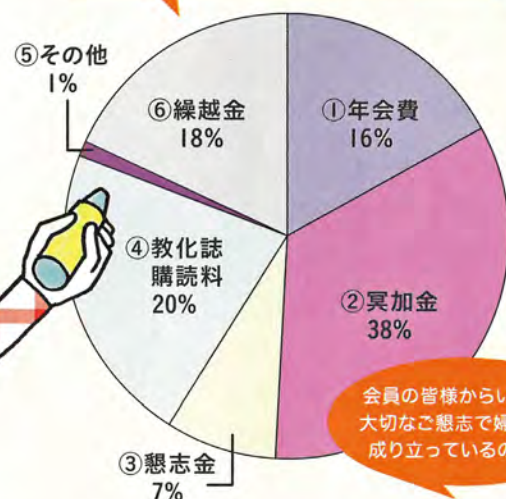
今年度は、サブテーマを「とどけよう ナンマングブ」と掲げました。両親、祖父母から私にまで届けられたお念仏の教えを、一人ひとりがお念仏する姿をとおり、ともに聴聞することによって、子や孫に手渡していくことを願いとして活動していきます。

わたしもお念仏を
しっかりいただいて、こどもや、
孫に伝えたいわ



2015年度収支予算額 61,000,000円

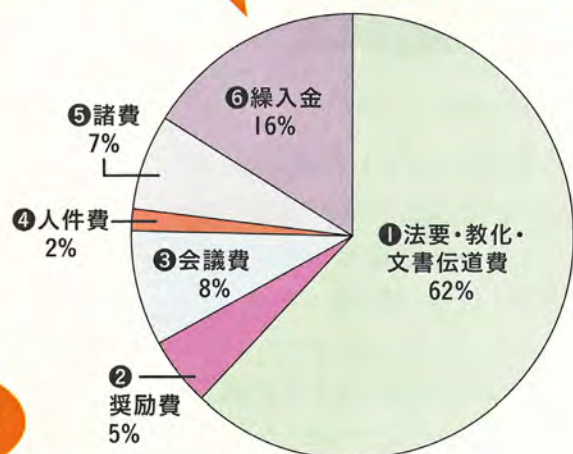
収入 61,000,000円



会員の皆様からいただく
大切なご懇志で婦人会が
成り立っているのね!!

- ①年会費: 会員一人700円
- ②冥加金: 全国大会、地区聞法会、全国支部長・役員研修会等の参加費
- ③懇志金: 諸懇志、永代経懇志、お賽銭等
- ④教化誌購読料: 『花すみれ』『法話シリーズ』の購読料
- ⑤その他: 預金利息、『花すみれ』広告料等
- ⑥繰越金: 前年度繰越金

支出 61,000,000円



- ①法要・教化・文書伝道費: 全国大会、支部巡回講師派遣、定例法話、『花すみれ』『法話シリーズ』『すみれ』に係る経費
- ②奨励費: 支部設立や支部活動を支援するための経費
- ③会議費: 委員会・常任委員会等に係る経費
- ④人件費: 臨時職員に係る経費
- ⑤諸費: 事務費、送料、税金等
- ⑥繰入金: 特別事業積立金



第2期 委員紹介



新しい顔ぶれの委員さんです。
皆様よろしくお願いいたします!

委員長
副委員長
常任委員

宮本 春美 (東日本)
伊勢 順子 (東海)
高橋 トシ (東日本)
壘昇 恭子 (北陸北部)
月輪 満子 (北陸南部)
猪俣 恵子 (東海)
近藤 由美子 (西日本)

委員

竹内 亮子 (東日本) 阿多野 美意子 (東海)
玄巣 寿子 (北陸北部) 石神 秀子 (東海)
篠原 寿子 (北陸北部) 本多 恭代 (東海)
広橋 千代子 (北陸北部) 大矢 よし子 (東海)
石井 澄江 (北陸南部) 菅原 敬子 (東海)
長島 由紀子 (北陸南部) 明石 正子 (西日本)
廣島 朋子 (北陸南部) 椋田 美貴 (西日本)
日野 晃子 (北陸南部) 小谷 尚美 (西日本)
新谷 久美子 (北陸南部) 安間 小百合 (西日本)
飯貝 壽代 (北陸南部) 村上 奈津子 (西日本)



大谷婦人会副委員長 伊勢 順子

真宗教化センター内覧会・茶室披露

2015年6月16日～19日 開催

内覧会・お茶会が全国支部より三百数人集い三日間にわたり、賑々しく開かれました。

大谷婦人会館から移設された茶室「花菫」「真信庵」「帰命庵」では、門首の直筆「慶縁」の軸が飾られ会長のお話とともに、一服を楽しみました。すみれの間で、記念撮影、大谷ホールで点心をいただきお茶室へと移動。末富の「祥花」となづけられたお饅頭で身も心も大満足。

大谷婦人会の新たな活動拠点が、真宗教化センターの中に生まれ変わった晴れがましい一日でした。



常任委員 壘昇 恭子

第68回 北陸地区聞法会(後期)

2015年6月16日～19日 開催
会場 石川県山代温泉「ゆのくに天祥」

私は18日、19日に開催された第6組に参加しました。講師の黒萩昌先生は、「自分に出遇ってください」、「煩惱具足のわが身であることを自覚してください」と何度も繰り返され、「あー、そうでありました」とうなずくのですが、私は「わが身が可愛い、可愛い」とさえずりながらの日暮しをしており、お恥ずかしい限りの自分自身に気づかされた二日間でした。

しかし、そのようなわが身のままで、すでに救われていることをお教えたいただき、「私は私のままでよかったのだ」と思ったことでした。



大谷婦人会定例法話会

この度、旧大谷ホール・大谷婦人会館が7月より真宗教化センターとして立派に生まれかわりました。一階の「すみれの間」と名付けられた仏間では土日にかかわらず、毎月10日午後2時から定例法話会を開催しています。12月10日には大谷婦人会のお内仏報恩講が勤まります。会員が増え、賑やかで楽しく活動が出来ますことを期待しております。



常任委員 猪俣 恵子

第68回 東海・近畿地区聞法会

2015年9月2日～4日 開催
会場 岐阜県下呂温泉「水明館」

木越樹先生は、蓮如上人の「うれしさを むかしはそでに つつみけり こよいは身にも あまりぬるかな」のお言葉を引いて、仏法に出遇った喜びというのは身に余る喜びであるということをお話くださいました。

当支部の会員も「参加して良かった」と口々に話してくださいましたし、皆さんをお誘いしたことを誇らしく思いました。

夕食時は、他支部の会員方の歌や踊りを拝見し、最後は全員で輪になって踊り、とても楽しかったです。

これからも聞法の輪が大きく広がるよう念じております。



西日本ブロック 浅井 温子

◆ 大谷婦人会 全国大会

〔日 時〕 2015年12月9日(水) 午後1時～4時

午後1時～ 全物故会員追弔法要・秋季永代経法要(音楽法要)

午後2時～ 全国大会(式典および法話)

〔会 場〕 真宗教化センター 2階「大谷ホール」

〔講 師〕 かい ほうりゅう 海 法龍 師



1957年、熊本県天草市生まれ。大谷大学、大谷専修学院卒業。真宗大谷派首都圏教化推進本部 本部員として、親鸞講座の開催や広報誌「サンガ」・「Sein(ザイン)」の発行など、親鸞聖人の教えを基にした首都圏での教化・広報企画に取り組む。東京教区長願寺(神奈川県横須賀市)住職。東本願寺出版発行『大きい字の法話集』に執筆。

〔講 題〕 「今、南無阿弥陀仏に生きる」

〔冥加金〕 一人 2,000円



全国の会員の皆さん、
誘い合って参加しましょう!



◆ 交流会

〔日 時〕 同日午後5時～7時

〔会 場〕 ハイアットリージェンシー 京都

古の伝統と文化に息づく京都・東山に位置し、JR京都駅から近く(タクシーで8分)、観光でお越しの方には最高のロケーションです。

※当日、当ホテルにて宿泊を希望される方は申し出ください(先着順)。

〔冥加金〕 一人 10,000円

☆全国の会員と美味しいディナーを戴きながら、交流を深めます。

☆全国大会終了後、真宗教化センター前からホテルまでは無料直通バス(往路)を用意します。

※交流会のみの参加はできません。全国大会と共に申し込みください。

お問い合わせは
大谷婦人会事務局まで



電話 075-371-6181 メール otani-fujinkai@higashihonganji.or.jp

な む あ み だ ぶ つ
南無阿弥陀仏をとனால்ば

じ っ ぽ う む り ょ う し ょ ぶ つ
十方無量の諸仏は

ひゃくじゅうせんじゅう い に ょ う
百重千重圍繞して

よろこびまもりたまうなり

「浄土和讃」真宗聖典488頁

編集後記

(近藤編集委員長)

暑かった夏が終わり、いつの間にか虫さだく秋も半ばすぎ、秋深し。

いろいろな意味で日本中の天地が揺れ、人も揺れ、おかしなことがまかりとおるこの頃でした。このまま五濁増へと突き進んでいっているような世に、揺れることのないものを私に、立つ位置の揺るがない私に。聞いていく、そういうことでしょうか。